官

第 国際出願等に関する法律(昭和五十三年法律第三十号)及び工業所有権に関する手続等の特例に関する法律 附則第一条第二号に掲げる規定の施行の日から施行する。 に定める 〇経済産業省令第三十八号 この省令は、 **附 則** a際出願等に関する法律(昭和五十三年法律第三十号)及び工業所有権に関する手続等の特例に関する法律(平成二年法律第三十号)を実施するため、特許法施行規則等の一部を改正する省令を次のよう特許法(昭和三十四年法律第百二十一号)、実用新案法(昭和三十四年法律第百二十三号)、意匠法(昭和三十四年法律第百二十五号)、商標法(昭和三十四年法律第百二十七号)、特許協力条約に基づく 3 2 第九十四条の二 第二百十六条の五 第二百十六条の二の六 法第百二十一条の六第一項第四号イの農林水産省令で定める者は、精神 第二百十六条の二の七 様式第11(第9条の2関係) 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分は、これに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。条 特許法施行規則(昭和三十五年通商産業省令第十号)の一部を次のように改正する。 特許法施行規則の一部改正 六~九 の国籍を有しない場合には、同号ロに該当しない者であることを当該役員が誓約する書面)五 役員が法第百二十一条の六第一項第四号ロに該当しない旨の官公署の証明書(役員が日本 産省令で定める書類は、 特許法施行規則等の一部を改正する省令令和元年九月十三日 条第三項、第百条第三項及び第百条の八第三項において準用する場合を含む。)の農林水産省令 適切に行うことができない者とする。 の機能の障害のため紛争解決等業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を び意思疎通を適切に行うことができない者とする。 で定める者は、精神の機能の障害のため職務を適正に執行するに当たって必要な認知、 [備光] 法第百二十一条の九第一項において準用する保険業法第三百八条の三第二項第七号の農林水 (指定申請書の添付書類) (心身の故障のため紛争解決等業務に係る職務を適正に執行することができない者) の国籍を有しない場合には、 〔心身の故障のため職務を適正に執行することができない者〕 と読み替えるものとする 容の変更若しくは消滅」とあるのは「代理人に選任されたこと又は代理権が消滅したこと」 この場合において、様式第9の備考9中「代理人の選任若しくは変更又はその代理権の内 で、様式第4の備考1、2及び4並びに様式第9の備考6、7、9及び10と同様とする。 第五章 その他は、様式第2の備考1から4まで、10から14まで、16から18まで及び23から26ま 第二節 役員 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行の日から施行する。 (略) 略 法第三十四条の四第一項第二号(法第七十七条、 (略) 次に掲げる書類とする。 正 第九十二条第三項、 第九十六 判断及 3 第 様式第11(第9条の2関係) (新設) (新設) 五 役員が法第百二十一条の六第一項第四号イ及び口に該当しない旨の官公署の証明書(役員 産省令で定める書類は、 一百十六条の五 〔備光〕 一百十六条の二の六 約する書面) (指定申請書の添付書類) が日本の国籍を有しない場合には、 法第百二十一条の九第一項において準用する保険業法第三百八条の三第二項第七号の農林水 $1 \sim 3$ 4 その他は、様式第2の備考1から4まで、10から14まで、 容の変更若しくは消滅」とあるのは「代理人に選任されたこと又は代理権が消滅したこと」 と読み替えるものとする。 この場合において、様式第9の備考9中「代理人の選任若しくは変更又はその代理権の内 で、様式第4の備考1、2及び5並びに様式第9の備考6、7、9及び10と同様とする。 第五章 第二節 役員 略 管理 次に掲げる書類とする。 ただし、 同号イ及び口に該当しない者であることを当該役員が誓 第二条、 正 第五条及び第七条から第九条までの規定は、 前 16から18まで及び23から26ま 経済産業大臣 菅原 一秀 同法